

# 平成30年度第1回学校運営協議会の実施報告書

---

学校名	岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校		
校長	土井 充行		
所在地	岐阜市芥見南山 3-11-1 電話 058-243-0710		

---

1 協議会の名称 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校運営協議会

2 協議会の構成委員

清水達郎	芥見南自治会連合会	会長
伊藤知子	株式会社十八楼	女将
五十川勝也	芥見東身体障害者福祉協会	会長
土屋明之	中部学院大学短期大学部	特任教授
高橋貴美子	岐阜清流高等特別支援学校	PTA 会長

学 校	土井充行	校長
	高井繁喜	教頭
	下野修	事務長
	廣瀬雅行	部主事
	横田真	教務主任
	三橋正康	生徒指導部長
	谷藤麻以子	地域交流部長

3 協議会の目的 学校運営に関する目標やビジョンを地域住民や保護者、有識者と共有し、幅広く意見を求めるとともに互いに連携・協働し、教育活動の活性化及び地域に開かれた学校づくりを推進しながら、地域や社会に貢献できる担い手となる人材を育成する。

4 協議会の開催 平成30年5月8日(火) 10:00~12:00  
岐阜清流高等特別支援学校 校長室

5 協議会の概要

- (1) 校長挨拶
- (2) 協議会の設置及び運営について
- (3) 委員の任命及び自己紹介
- (4) 会長及び副会長の選出  
会長 土屋明之  
副会長 清水達郎
- (5) 議題

① 学校経営計画及び組織編制について

○学校運営機構：地域交流部と研修・支援センター部を再編成したり、他の分掌業務にコミュニティ・スクール制度を盛り込むことで、制度が実効あるも

のにできるよう計画した。

意見1：宿泊研修は昨年度から実施していたか

回答→ 昨年度から実施している。今年度もすでに計画しており、5月から実施する。

家庭での日常生活の様子がよく分かるため、現場実習等の事前指導に効果的である。

② 教育課程の編成について

○介護職員初任者研修の資格取得のためのカリキュラムを編成している。

○企業との連携や、特別非常勤講師を活用し、専門コースにおいて、より実践的な教育活動を行う。

③ 年間行事計画について

○校歌発表（芸術鑑賞会）や愛 Wish プロジェクトについては、地域の方が参加しやすいように計画する。

○防災訓練や学校避難所計画など、地域と連携し、実際に機能する組織等の構築ができるように計画をする。

○教職員の働き方改革を念頭に置いた行事計画とした。

④ 専門コース製品の価格設定について

意見2：工業コースの材料費と販売価格のバランスは適正か。

回答→ 購入意欲を高めることができる販売価格に設定している。

意見3：ロジスティックスコースは印刷業務を請け負うため、PR活動が重要だと思うが。

回答→ 生徒にとっては、発注者とのやり取り（発注、納品含む）も学習の一環となるため、積極的に校外へPRする。

## 6 授業参観

## 7 会議のまとめ

・会長を土屋明之氏とする。副会長を清水達郎氏とする。

・学校運営計画及び組織編制について承認する。

・教育課程の編成について承認する。

・年間行事計画について承認する。

・専門コース製品の価格設定について承認する。

○卒業後、企業就労し、社会の一員として活躍できる力を着実に身につけるため、一歩踏み込んだ実践的な教育を推進する。

○コミュニティ・スクール制度の導入を実効あるものとするため、地域と一体になった学校づくりを進める。

○生徒の実態と課題を踏まえ、社会生活上のトラブルやリスクから身を守る教育を重点的に行う。また、PTA等と連携し、危機管理体制を強化する。